



附属小学校だより

平成30年6月発行

平成30年度教育研究発表会

6月15日(金)、平成30年度の教育研究発表会を行い、平成32年度に全面実施となる新学習指導要領に向けて研究してきたことを公開授業の形で提案しました。最近、梅雨入りを思わせるような日が続いていましたが、研究会当日は雨の心配がなく、それでいて蒸し暑くもない良い日でした。県内外から参加された先生方や学生の皆さんと一緒に研修を深めることができました。

公開したのは、10教科、15授業で、どの教員も新学習指導要領を意識した授業を提案しました。また、どの授業においても、子供たちが真剣に考え、楽しそうに活動している姿が見られました。

ふたば会学級委員の皆様には、各係の仕事を責任をもって行っていただき、ありがとうございました。



今年度の学校運営について

《教育目標・教育方針・教育目的と役割について》

昨年度までと大きな変更点はありません。「教育目的と役割について」の欄にありますように、本校は、①本校に通う子供が明るく元気に学校生活を送ることができるように、②県内外の現職の教員によりモデルを示すことができるように、③これから教員を目指す学生が心から教員になりたいと思えるように、④学部や附属学園と共に高まっていくことができるように、努めていきます。

《目指す子供の姿について》

昨年度までも、学校要覧には「自ら考え判断し行動できる子供」とありましたが、玄関の表記が「よく考え判断し行動できる子供」となっていたり、教員によっては「よく考え・・・」と思い込んでいたりしたように、必ずしも統一されていませんでした。これを職員会議で「自ら考え・・・」に統一しました。「よく考える」ことはもちろん大事なのですが、他人から言われたことについて真剣に考えるのではなく、「自ら課題を見つけ・・・」というような主体的に考える子供になってほしいという願いを込めてあります。

《重点課題について》

今年度は、「知」「徳」「体」の3つを重点課題とします。昨年度は、「環境」を含めた4つでした。「環境」は「知」「徳」「体」の土台になる大事な項目ですが、具体的な実践内容が「知」「徳」「体」と重なってしまうこと、重点課題を絞り確実に実践した

方が効果があること等を踏まえ、3つとしました。

具体的な実践内容と担当教員については、以下のとおりです。

(1)「知」学力向上と家庭学習の充実 担当：○細江、福田、浅川、岩山、屋鋪、松井

○自学自習する力を付けるための家庭との連携

「スタディ10」の取組を年3回（「学習のたしかめ」の期間等）実施予定です。

○基礎・基本の定着を図るための漢字・計算大会の実施

○楽しくて力の付く授業のチェック（新）

学力向上には、日々の授業の質を高めることが欠かせません。私たち教員が自分の授業を自分で振り返ることができるように、チェック体制を検討しています。

(2)「徳」豊かな心づくり 担当：○鼎、小山、桶本、眞田、奥村、有島

○よりよく集団活動を送るための活動

子供たちが主体的にルールを守れるように、代表委員会や委員会活動を活用し、具体的な目標を決めたり、放送やポスターで呼びかけたりしていきます。

○よさを互いに認め合う活動（新）

やさしい心・正しい心・頑張る心がみられる子供の姿を、玄関前の大型テレビやホームページにて紹介します。ご来校の際に見てください。

(3)「体」健康な体づくり 担当：○土合、松森、村井、池田

○運動面に関する取組（改）

昨年度の学校評価アンケートで低い数値であった運動面に関する取組です。本校では学習や研究の面が目立つので、運動面のおろそかになっているように思われがちですが、体育主任を中心に行っている取組を紹介します。

運動会や陸上記録会に向けては、3年生以上が朝練習に取り組んでいます。グラウンドやフロアの鉄棒には、逆上がり練習器を装着し、子供たちが気軽に鉄棒に親しめるようにしてあります。休み時間になると、たくさんの子供が鉄棒で遊んでいます。この後、運動委員会主催の集会（ドッジボール・鬼ごっこ・縄跳び等）も計画しています。



○健康面に関する取組（改）

今年度は、「睡眠」に重点を置いて取り組みます。それは、最近、夜遅くまでインターネットやゲームをしていて、朝起きられない子供が増えているように感じるからです。子供自身が就寝時刻や起床時刻、寝付きや寝起きの状態をチェックできるように年5回実施予定です。

（副校長 曲 師 政 隆）